

# 古代産金の地

## 那須のゆりがね

講師 金子智美氏（なす風土記の丘資料館学芸員）

現在の那珂川町は古代「那須のゆりがね」として、日本最初の黄金産出の地と伝えられており、奈良の東大寺大仏鑄造や遣唐使派遣などの国家的事業に貢献していた。豊臣政権下の佐竹氏の金山支配から関ヶ原の戦い以降の水戸領時代、そして現代に至るまで那珂川町がどのように日本の歴史に関わっていたのか、産金をテーマに読み解いていく。

「ゆりがね」

砂金を意味する。砂金の含まれている土砂をゆり板で水洗いして、ゆすぶる動作からきている。

日時 : 令和元年 9月29日(日)  
14:00~15:30

場所 : 那珂川町馬頭図書館

定員 : 20名

参加費 : 無料

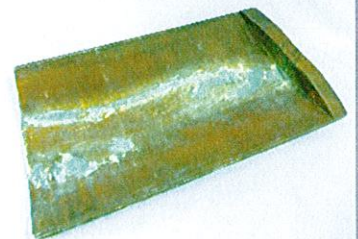
申込期間 : 9月1日(日)~9月28日(土)まで

※定員になり次第、締め切ります。

申込方法 : 那珂川町図書館窓口または電話にて  
お申込みください。

(講座に関する詳しいお問い合わせは、  
馬頭図書館へお願いします。)

ゆり板



写真協力/那珂川町教育委員会

### 馬頭図書館

【住所】 那珂川町馬頭550-4

【電話】 0287-92-5015

【開館時間】 9時~19時

【休館日】 月曜日 ※祝日の場合は火曜日

### 小川図書館

【住所】 那珂川町小川2785

【電話】 0287-96-2335

【開館時間】 9時~19時

【休館日】 金曜日 ※祝日の場合は木曜日

指定管理者/大高商事・藤井産業・図書館流通センター共同事業体